

松本文科大臣が挨拶

スポーツ功労者顕彰等に
係る 文科大臣顕彰・表彰式

スポーツ功労者顕彰等に係る文部科学大臣顕彰・表彰式が8月7日、東京都千代田区のホテルニューオータニ(東京)において開催され、昨年度の国際大会などで活躍した選手らが顕彰・表彰された。

式では、松本洋平文科大臣から▽オリンピック・パラリンピック競技大会優秀者顕彰▽オリンピック・パラリンピック競技大会入賞者等表彰▽スポーツ功労者顕彰▽国際競技大会優秀者等表彰▽スポーツ審判員顕彰▽スポーツ功労団体表彰――の各代表者に顕彰状又は表彰状が授与された。

主催者を代表して松本文科大臣が挨拶し「各大会における優れた成績や世界記録の樹立はもとより、挑戦する姿そのものが多くの国民に夢と希望、そして勇気を与えた。皆様のたゆまぬ努力に対して心から敬意を表する。また、スポーツ功労団体として表彰を受けら



れた皆様の活動は、社会全体でスポーツの基盤を支え、スポーツの価値を高めていく上で大変重要で欠かせないものだ。心より感謝とともに、今後もさらなるお力添えを賜ります



式典に臨む受章者ら(ホテルニューオータニ東京)



式典後の取材に応じる中井亜美選手⑤、坂本花織選手⑥、島田麻央選手



顕彰状を受ける木村葵来選手⑦



受章者代表謝辞を述べる坂本花織選手⑧

よう重ねてお願い申し上げる」と受章者らに祝意を表した。

最後には、受章者を代表して、フィギュアスケートの女子・ミラノ・コルティナ五輪銀メダルの坂本花織選手、パラアルペンスキー男子・ミラノ・コルティナパラ銅メダルの鈴木猛史選手から謝辞が述べられ、坂本選手は「国民の皆様から頂いた温かい声援が自分の力になることを、私自身、ミラノ・コルティナオリンピックをはじめとした各大会で改めて実感した。たくさんの方の応援をいただき、心より感謝申し上げます。また、家族や近い人の支えにもこの場を借りてお礼を申し上げます。この度の受章を励みとし、それぞれの分野で新たな目標に向かって邁進してまいります」と述べた。